



2026年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニックグループ  
代表者名 代表取締役社長 福永 健司  
(コード番号 2342 東証スタンダード)  
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰  
<https://transgenic-group.co.jp/contact/>

### (開示事項の変更) 神戸研究所閉鎖に伴う事業機能の再配置に関するお知らせ

当社は、2026年3月25日付「株式会社トランスジェニック神戸研究所の閉鎖に関するお知らせ」にて、神戸研究所の閉鎖および機能の移転・集約について公表しております。

その後、当該方針に基づき、当社及び当社連結子会社である株式会社トランスジェニック（以下、「トランスジェニック」）は、具体的な実行計画の検討を進めてまいりましたが、本日開催の両社の取締役会において、トランスジェニックのジェノミクス事業について、当初予定していた久留米モダリティ分析センターへの移転・集約ではなく、神戸ポートアイランド内施設への再配置を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 見直しの背景

当社及びトランスジェニックは、神戸研究所閉鎖後、ジェノミクス事業を久留米モダリティ分析センターへ移転・集約する方針としておりましたが、具体的な移転計画の検討を進める中で、現状の拠点集約では、「高度な技術を有する人材の確保」、「技術継承及び開発体制の確保」及び「事業基盤の維持・継続性の確保」の観点から、事業価値の最大化に必ずしも資さない可能性があるとの判断に至りました。

##### 2. 今後の方針

神戸研究所については、当初計画どおり閉鎖を進めてまいります。ジェノミクス事業については、神戸ポートアイランド内における外部施設の活用等も含めた柔軟な体制構築を検討し、技術・事業基盤の維持および事業継続性の確保を図ってまいります。

なお、大動物薬理事業については、従来どおり磐田研究所への集約を進めてまいります。

##### 3. 業績に与える影響

本件に伴う業績に与える影響につきましては、本日開示の「特別損失及び繰延税金資産の計上、通期連結業績予想と実績との差異並びに個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ」に織り込んでおりますが、今後開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以 上